

災害に強いLPガス発電機 ついに販売開始!



- ✓ 全自動定置型
- ✓ 最小定格出力3kW
- ✓ 72時間以上の長時間連続稼動

エンジン	水冷式単気筒エンジン(220cc) LPガス専用エンジン
相数・線数	単相2線
周波数	50Hz
定格出力電圧	AC100V
定格出力電流	AC30A
定格出力電力	3.0kVA
運転方式	停電時自動切替・手動起動・遠隔起動※
始動時間	停電より負荷投入まで40秒以内
連続運転時間	72時間以上
外形寸法	W610mmxH1095mmxD450mm(突出部を除く)
乾燥重量	240kg以下(ガスボンベを除く)

※オプションとして発電機を遠隔監視・制御をする仕組みを構築します。
◆一部仕様変更する場合がございます。

KANDENKO

戦略事業ユニット 開発事業部 新規事業チーム
〒108-8533 東京都港区芝浦4-8-33 TEL.03-5476-3557
製造元:YGK通商株式会社

関電工 防災用発電機 検索

<https://lpgg.jp>



防災用LPガスエンジン発電機、誕生!

理想の防災用発電機は何かを徹底して追求しました。災害に強い燃料は何か。防災で求められる原動機の性能はどうあるべきか。こうして誕生したのが、防災用LPガスエンジン発電機です。

燃料は災害に強いLPガス



LPガスは、全国に300万トン(90日分)以上の備蓄と、災害に強い約340箇所の中核充填所が配備され、LPガス容器に充填し、全国どこでも燃料調達が可能。また、軽油などの燃料と大きく異なり、長期保存でもほとんど劣化しません。

72時間以上の確実な稼働



吸気温度およそ27°C~50°Cの過酷条件の中、72時間連続で安定した定格電力(3kW)を供給。(試験期間: 2020.8.11 12:30 ~ 2020.8.14 12:30)

真夏の炎天下に発電機を曝露し、実際のフィールドで連続稼働させて性能を検証しております。吸気温度が40°Cを超えるような状況でも安定して稼働することが確認されております。

(発電機の環境条件は、周囲温度-5°C~40°C)

高効率専用エンジンを搭載



レーシングエンジンのDNAを引き継ぎ防災に求められる72時間以上の連続運転に耐えるLPガス専用エンジンを開発。急速燃焼技術により高効率を実現。長時間連続稼働に必要な備蓄燃料の節減が可能です。

4点点火方式による確実な起動



単気筒水冷式エンジンに点火プラグを4本装着。しかも燃料はLPガスだから確実に着火します。発電機は停電を感知すると、自動で起動し、40秒以内に電力を供給します。復電時には自動で停止し、商用電源に切り替えます。手動や遠隔[®]による操作も可能です。

※オプションとして、発電機を遠隔監視・制御するしくみを構築します。

コンパクトサイズ



エンジンの小型化に成功したことから、発電機の筐体サイズは、W610mmxH1095mmxD450mm(突出部を除く)とコンパクト。省スペースだから設置場所に困りません。重量も240kgと軽量で、屋上に設置することも可能です。

◆一部仕様変更する場合がございます。

保守メンテナンスが容易



ススがほとんど出ないことから、エンジンオイルの汚れも少なく、エンジンは長寿命です。また、保守メンテナンスはLPガス供給事業者が行います。

状態監視「みまもりサービス」

発電機が確実に起動する状態を監視します。



関電工



モニタリング

正常待機状態

運転履歴



お客さま



IoTを活用し、発電機の状態監視(モニタリング)を行い、異常を検知した場合には、メール等でお知らせいたします。

◆一部仕様変更する場合がございます。

◆本サービスは、オプションです。

